

中部広域都市計画下水道の変更

(沖縄市決定)

沖縄市公共下水道

令和4年度

沖縄県 沖縄市

1.案 の 理 由 書

都市計画の案の理由書

中部広域都市計画下水道の変更 (沖縄市決定)

名称: 沖縄市公共下水道

沖縄市の下水道は、昭和 37 年度に都市計画決定し、昭和 39 年度から流域関連公共下水道として施設整備に着手し、現在も鋭意推進してきています。

計画的な下水道施設の整備を行うことで、「公衆衛生の確保と生活環境の改善」、「浸水の防除」、「公共用水域の水質保全」を目的としています。

今回、変更する排水区域は、宅地化の進展に伴い、都市計画区域の追加拡大を行うものであり、都市施設として下水道を整備する必要があります。登川地区に関しては、その周辺部も宅地見込み地として含め、地形的条件等を踏まえ追加拡大します。

平成 29 年度の中部広域都市計画下水道の変更(沖縄市決定)で定められている 3,458ha に対し、宅地化の進展に伴い、池原地区、登川地区、古謝地区、桃原地区において、下水道区域の拡大(4 地区合計: 約 19ha)を行います。追加面積の約 19ha を加算した 3,477ha へ変更を行うものです。

また、現在沖縄県で策定中である「沖縄汚水再生ちゅら水プラン(沖縄県下水道等整備構想)」(令和 4 年度策定中)との整合を図り、下水道全体計画区域の追加拡大を行うことに伴い、都市計画の変更を行います。

排水区域の追加拡大面積

・排水区域面積の変更: 約 19ha の追加 (約 3,458ha → 約 3,477ha)

(追加拡大面積の内訳)

地区名	追加拡大面積	備考
池原	2.78ha	
登川	12.81ha	
古謝	2.16ha	
桃原	0.85ha	
合計	18.60ha	

2. 計 画 書

3.計 画 書

中部広域都市計画下水道の変更

(沖縄市決定)

中部広域都市計画沖縄市公共下水道「2.排水区域」を次のように変更する。

2.排水区域

接続する下水道	備考
中部広域都市計画沖縄市公共下水道	面積 約 3,477ha

「排水区域は総括図表示のとおり」

(理由)今回、変更する排水区域は、池原地内(2.78ha)、登川地内(12.81ha)、古謝地内(2.16ha)、桃原地内(0.85ha)、合計約 19ha を新たに区域として追加します。

排水区域を拡大し計画的な下水道施設整備を行うことで、「公衆衛生の確保と生活環境の改善」、「浸水の防除」、「公共用水域の水質保全」を図るものです。

3.総括図(汚水)

4.総括図(雨水)

